

十八日新聞 名物

十八日町 x 学生の 勝手に妄想シリーズ

今回、見学させていただいたのはお店部分だけでしたが、どうやらこの建物は縦長の構造になっており、奥に続いているようなんです。お店の奥には何があるのでしょうか…気になる……ということで店舗奥の間取りがどのようにになっているのか私たちが勝手に妄想して間取り図を作成してみました。

朝日が見える 大きな窓がある!?



朝日堂だけに…

家の奥には豊かな自然が!?



エコでグリーンなお店を 目指す朝日堂さん。

もしかして 奥様はハイスペックワIFE?!

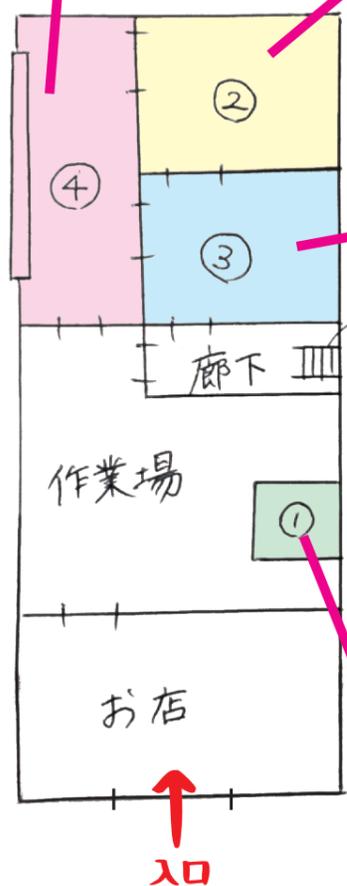


良いうつわを仕入れるため モニタールームで 常に市場をチェック!

まさかの 自給自足!?



地下につながる扉。その先には、ひろーい 採石場が!! 採れた石は、ハンコの材料になる?



朝日堂オリジナル 超オススメ商品 1個から制作できる



朝日堂さんのすごいところはレーザー加工機だけではありません。これらの商品も朝日堂さんで作られたものなんです!奥の作業場にあるプリンターを使って作るそうです。左のマグカップは、特殊な加工をすることによって柄の入った表面の凹凸を無くせるのだそうです!



どんなものでも、1個から 注文受付いたします~!

このレーザ加工機は、現在この社長さんが作業スピードの観点から数年前に導入したそうです。環境にも配慮を忘れない社長、素敵ですね。

「明日までに作って欲しい」と頼まれたことがあるようなのですが、なんと依頼を受けたのはもう夕方、社長は夜なべし

苦勞した依頼と 社長の信念

「ノー」を言わないようにしているんだそうです。社長のプロ意識の高さに驚きました。また、デザインをするときはお客さんとじっくり話をしたり、デザインを提案してあげたりしながら商品を作るのだそうです。

「ハンコ屋はデザイナー」

なのだと。素敵ですね。

ハンコ屋さんなのにうつわ!? こだわりの食器・お母様の思い



お邪魔させていただいたときはひな祭りや春をモチーフにした食器が多く並んでいました。素敵ですね。いまのご時世、ちゃんとした器に盛りつけて食事をしていく方はどれくらいいるでしょうか? お母様は、忙しい中でもちゃんとした器に盛りつけて食事の時間を過ごしてほしいと願っていらっしゃるそうです。私たちが実践できるような、努力します。

